
リモートストレージ施設へのリクエスト

統合プロフィールのリモートストレージタイプを設定するには、次の役職が必要です：

- 統括システム管理者

リモートストレージプロフィールをリモートストレージ機能に関連付けるか、リモートストレージ機能を使用する場所を更新するには、次の役職が必要です：

- フルフィルメント アドミン

Almaがリモートストレージロケーションに属するアイテムにリソースリクエストを送信すると、自動ジョブはリクエストされた情報を定義されたFTPロケーションにエクスポートします。次に、リモートストレージシステムがファイルを取得して処理します。リモートストレージを設定するには、[リモートストレージ施設の設定](#)を参照してください。

FTPロケーションに置かれたファイルは、external_sys_remote_storage_export_requests.xsdファイルで定義されたルールに準拠します（詳細は、https://developers.exlibrisgroup.com/alma/apis/xsd/external_sys_remote_storage_export_requests.xsdを参照）。

リモートストレージシステムへのリクエストのエクスポートを設定するには、次のアクションを実行します：

1. Almaとリモートストレージシステムで使用するS/FTP接続を設定します（[S/FTP接続の設定](#)を参照）。
2. 統合プロフィールのリモートストレージタイプを設定します（以下を参照）。
3. リモートストレージプロフィールをリモートストレージ機能に関連付けます（以下を参照）。
4. このリモートストレージ機能を使用する冊子の場所を更新します（以下を参照）。

Note

上記のすべての設定を行った後の、リモートストレージ・エクスポートジョブの実行と監視について、詳細は[リモートストレージへの手動でのエクスポート](#)を参照してください。

Almaがサポートするリモートストレージ統合タイプの詳細については、次のセクションを参照してください：

- [NCIPベースのリモートストレージ統合](#)
- [Dematic 自動ストレージ検索システム \(ASRS\)](#)
- [Swisslog SynQ リモートストレージシステム](#)

リモートストレージの設定

統合プロフィールのリモートストレージタイプを設定するには：

1. 統合プロフィールリストページ（[設定メニュー](#) > [一般](#) > [外部システム](#) > [統合プロフィール](#)）で、[統合プロフィールを追加](#)を選択します。統合プロフィールウィザードの最初のページが開きます。
2. このページで次のアクションを実行します。

- a. 定義するプロファイルのコードと名前を入力します。
 - b. 統合タイプのドロップダウンリストから、リモートストレージを選択します。
 - c. [システム]ドロップダウンリストから、リモートストレージシステムのタイプを選択します。
 - d. **S/FTP**接続タイプドロップダウンリストから、過去に定義したFTP接続の名前を選択します。
 - e. 任意で、設定しようとしている統合の説明を入力します。
3. 次へを選択します。ウィザードの2ページ目が開きます。
 4. 統合タイプを選択します。XML設定は次のとおりです：

The screenshot shows the 'Integration Profile' configuration interface. At the top, there are navigation buttons: 'Cancel', 'Back', and 'Save'. Below the system name 'Student Information System', the 'REMOTE STORAGE INTEGRATION TYPE' is set to 'XML'. The 'EXPORT REQUESTS' section is currently 'Inactive'. Under 'Include requester information in physical item requests', there is an information icon. 'Itemize remote storage requests' is set to 'Upon export'. The 'Export File Path' field is empty. Under 'Request types to export for schedule', 'Hold request', 'Patron digitization', 'Library digitization', 'Move request', and 'Work Order' are all set to 'No'. The 'Schedule frequency' is 'Not scheduled'. Under 'Request types to export for running job', 'Hold request', 'Patron digitization', 'Library digitization', 'Move request', and 'Work Order' are all set to 'No'. The ExLibris logo and copyright information '© Ex Libris, a ProQuest Company. 2021' are at the bottom.

リモートストレージ統合プロファイルの定義 - ページ2

5. リクエストのエクスポートセクション：

1. プロファイルをアクティブにするかどうかを選択します。アクティブなプロファイルのみを実行できることに注意してください。
2. 物理的なアイテムのリクエストに依頼者の情報を含めるを選択すると、機関は物理的なリクエスト用にエクスポートされたXMLにユーザーの情報が含まれることができます。このオプションは、統合タイプがXMLおよびXML/NCIPの場合です（システムタイプは問いません）。
3. リモートストレージリクエストをアイテム別に表示では、機関がリモートストレージリクエストをエクスポート時にアイテム別に表示するか、リモートストレージへのエクスポートを待つ間に表示するかを選択できます。
4. エクスポートファイルのパスフィールドでは、S/FTP接続を作成するときに指定したパスのサブディレクトリ

を入力します。例えば、S/FTP接続の設定時にサブディレクトリ フィールドでAlmaを指定し、エクスポートファイルのパスフィールドにすると、リモートストレージと入力すると、Alma/リモートストレージディレクトリに請求書がエクスポートされます。

5. スケジュールへのエクスポートのリクエストタイプの下で、スケジュール済み統合プロファイルのエクスポートジョブでエクスポートしたいリクエストタイプを見つけ、はいを選択します。
 6. スケジュールの頻度フィールドで、エクスポートジョブを実行する頻度を選択します。
 7. ジョブ実行へのエクスポートのリクエストタイプの下で、手動実行される統合プロファイルのエクスポートジョブでエクスポートしたいリクエストタイプを見つけ、はいを選択します。
6. 保存を選択します。設定したプロファイルが、統合プロファイルリストに表示されます。

スケジュールされた/手動のジョブが実行されると、リクエストごとに1つのバーコードが送信され、以下の新しいフィールドがXMLに表示されます。システムによって自動的に選択されたアイテムは、プロセスタイプ = リクエスト済みとともに利用不可と表示されます。

- 。 リクエストがリソース共有リクエストである場合、ターゲット受取場所またはリクエストパートナーの配送先住所
- 。 MMS ID
- 。 アイテムID
- 。 ターゲット受取場所の図書館コード

Dematic ASRSシステム用にDematic ASRSリモートストレージ統合プロファイルを設定する場合、[目録リモートストレージの更新ジョブ](#)を実行する必要があります (https://developers.exlibrisgroup.com/alma/apis/xsd/external_sys_remote_storage_export_requests.xsdhttps://developers.exlibrisgroup.com...t_requests.xsd を参照)。

リモートストレージプロファイルをリモートストレージ機能に関連付けるには：

[リモートストレージ施設の設定](#)を参照してください。

リモートストレージ機能を使用する冊子の場所を更新するには：

[冊子の場所の設定](#)を参照してください。

リモートストレージへの手動エクスポート

リモートストレージエクスポートジョブを手動で実行および監視するには：

統合プロファイルリストページ (設定メニュー > 一般 > 外部システム > 統合プロファイル) で、定義したリモートストレージプロファイルのアクション > 編集を選択し、アクションタブを選択して、エクスポートリクエストセクションのアクティブラジオボタンが選択されていることを確認して、実行を選択します。

システムが対応できるとすぐにジョブが実行されます。AlmaでEメール通知を有効にしている場合、Eメールで通知を受け取ります。

[統合プロファイルリスト]ページの適切なリモートストレージプロファイルの行アクションリストからジョブ履歴を選択すると、ジョブのステータス、処理されたファイルの数、およびその他のデータを表示できます。

Note

正常に完了ステータスは、必ずしもリクエストが正常にエクスポートされたという意味ではありません。そうではなく、単にジョブがエラーなしで完了したということを意味します。

行にあるアクションメニューを使用して、より詳細なジョブレポートにアクセスすることができます。このジョブレポートは、リクエストレコードおよび例外を含むリクエストレコードの処理数（表示）に関する統計や、ジョブ処理中に発生した事例（事例）、およびエラーの報告（エラー報告）などを含みます。